

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0392

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	鑑賞・体験機会等充実のための事業推進			担当部局庁	文化庁	作成責任者	
事業開始年度	昭和47年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	政策課	政策課長 今井裕一 文化財第一課長 鍋島豊 文化財第二課長 山下信一郎 文化資源活用課長 篠田智志	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第10条、13条、14条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)		
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	我が国の歴史と文化に対する理解を促進し、もって文化財の保存・活用・継承に資するよう、広く国民が文化財に親しむ機会の充実を図る。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化遺産オンライン構想の推進:文化遺産のアーカイブ化を推進するとともに、全国の博物館・美術館等の文化財等の文化遺産情報を集約化し、インターネットで公開する取組を進める。 ○ 無形文化財等公開活用等事業:無形文化財等についての公開事業を継続的に実施することで、国民の無形文化財等の保存伝承に対する理解の向上を図る。 ○ 「国民のたから」鑑賞機会の充実:毎年、文化庁が新たに購入した文化財や、新たに指定した国宝・重要文化財等を国立博物館等の施設において展示公開する。 ○ 発掘された日本列島展:全国の発掘調査において出土した貴重な遺物や史跡整備後の活用事例など、発掘調査の意義と重要性について国民の理解の向上を図る。 ○ 邦楽普及拡大推進事業:演奏者の拡大に向け、文化庁が認定する団体(高校・大学の部活動等)に対し、コロナ対策を踏まえた稽古や実演に取り組みめるような環境整備(邦楽器購入・成果発表会等)に対する支援を行う。 						
実施方法	直接実施、委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	150.3	201	498.9	479	534.7
		補正予算	-	-	74		
		前年度から繰越し	-	-		74	
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 74		
		予備費等	19.6	-			
	計	169.9	201	498.9	553	534.7	
	執行額	157.3	117.8	467			
執行率(%)	93%	59%	94%				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)	105%	59%	82%				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	文化芸術振興委託費	351.4	404.5	無形文化財等公開活用等事業において、参加団体数の増加と会場費の増額が見込まれ増額した。 「国民のたから」鑑賞機会の充実において、輸送費の増加が見込まれた。 邦楽普及拡大推進事業において、継続支援を行う学校数が増進した。			
	庁費	63.1	65.6				
	情報処理業務庁費	57	57				
	職員旅費	3.7	3.7				
	委員等旅費	2.1	2.1				
	その他	1.8	1.8				
	計	479	534.7	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。			

活動内容 (アクティビティ)	我が国の多様な文化遺産に関する情報を、誰もがいつでも容易にアクセスできる環境を整備し、文化財の保存・継承・発展を図り、コンテンツの利活用や情報発信を進めるため、文化遺産のデジタルアーカイブ化を推進。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	我が国に所在する文化遺産情報の総覧を可能とすること	文化遺産オンラインの情報掲載件数	活動実績	件	265,138	271,014	269,945			
			当初見込み	件	170,000	180,000	190,000	200,000	210,000	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	文化遺産オンラインの年間の保守・開発コスト	単位当たりコスト	千円	43,071	89,122	88,159	98,644			
		計算式	千円/年	43,071/1	89,122/1	88,159/1	98,644/1			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)に基づき、令和2年度の訪問回数を200万回とすることを旨とし、毎年およそ10万回ずつ増加させる。	文化遺産オンラインへの訪問回数	成果実績	件	2,401,600	3,079,909	3,724,000	-	-	
			目標値	件	1,888,888	1,999,999	2,100,000	2,200,000	-	
			達成度	%	127.1	154	177	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	保守管理委託業者からの報告書									
活動内容 (アクティビティ)	文化財を保存し、後世に伝えていくために必要不可欠な選定保存技術の保存団体が一同に会し、普段ほとんど見ることができない技術の実演、道具・材料等を展示するほか、新たにHPやSNSを活用した情報発信をすることで、イベント当日に限らない継続的な選定保存技術の広報を行う。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	選定保存技術を多数の一般の方々に広報・普及し、後継者の発掘・養成、理解者の増加等に資する。	選定保存技術シンポジウムの開催回数	活動実績	回	1	0	1			
			当初見込み	回	1	1	1	1	1	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	選定保存技術シンポジウムの開催経費	単位当たりコスト	千円	31,795	11,466	29,572	29,833			
		計算式	千円/回	31,795/1	11,466/1	29,572/1	29,833/1			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 2年度	目標最終年度 -年度	
	年度内の選定保存技術シンポジウムへの来場者総数を過去3ヶ年平均程度以上とする。(100の位で切り上げ)	選定保存技術シンポジウムの来場者数	成果実績	人	3,526	-	2,605	-	-	
			目標値	人	4,000	-	2,600	5,000	-	
			達成度	%	88	-	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	選定保存技術シンポジウム実施業務報告書 なお、令和3年度の選定保存技術シンポジウムは、1時間当たりの滞留者数の上限を200名にするという人数制限を設定し実施している。									
活動内容 (アクティビティ)	国が指定した文化財及び購入した文化財を広く国民に紹介するための展覧会を開催する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	国が指定した文化財及び購入した文化財を通し、文化財及びその保護に関する関心を高める。	文化財購入文化財展等の開催回数	活動実績	回	1	-	-			
			当初見込み	回	1	1	1	1	1	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	文化財購入文化財展等 執行額/開催回数 ※令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止	単位当たりコスト	千円	48,812	-	-	39,154			
		計算式	千円/回	48,812/1	-	4,436/0	39,154/1			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 2年度	目標最終年度 -年度	
	年度内の文化財購入文化財展等への来場者総数を過去3ヶ年平均程度以上とする。(100の位で切り上げ)	文化財購入文化財展等の来場者数(新指定展は除く)	成果実績	人	8,320	-	-	-	-	
			目標値	人	7,100	-	-	8,800	-	
			達成度	%	117	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文化財購入文化財展の開催館からの報告									

活動内容 (アクティビティ)	近年、特に注目された出土品を中心とした展示を構成し、全国を巡回させる展覧会を開催する									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	発掘された日本列島展を全国で開催し、多くの来場者が調査研究成果に触れることを通し、発掘調査の意義や埋蔵文化財保護に関する理解を深める。	「発掘された日本列島展」の開催館数	活動実績	館	5	5	3	5	5	
			当初見込み	館	5	5	3	5	5	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	「発掘された日本列島展」執行額/開催館数			単位当たりコスト	千円	4,293	4,094	7,213	4,465	
				計算式	千円/回	21,463/5	20,468/5	21,639/3	22,323/5	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
	年度内の発掘された日本列島展への来場者総数を過去3ヶ年平均程度以上に上げる。(100の位で切り上げ)	発掘された日本列島展への来場者数	成果実績	人	106,222	42,588	27,776	3年度	-年度	
			目標値	人	113,600	113,600	68,160	79,400	-年度	
			達成度	%	93.5	37.5	40.8	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	発掘された日本列島展開催館からの報告を集計									
活動内容 (アクティビティ)	大学・高校等における邦楽に関する部活動を行う団体に対し、稽古や実演に取り組みめるような環境整備を行うとともに、各団体が集まって演奏発表や交流する場を設ける。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	邦楽器の無償貸与や指導者を派遣し、演奏指導などを実施する	支援団体の部員数	活動実績	件	-	-	1,321	-	-	
			当初見込み	件	-	-	1,300	2,600	3,900	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	委託費総額/支援団体の部員数			単位当たりコスト	千円	-	-	228	115	
				計算式	千円/回	-	-	302,212/1,321	299,750/2,600	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
	事業実施後の支援団体へのアンケートで、邦楽活動へのモチベーションが向上したと回答する団体を80%以上に上げる。	肯定的に回答した割合	成果実績	%	-	-	81	6年度	9年度	
			目標値	%	-	-	80	85	90	
			達成度	%	-	-	101	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	令和3年度邦楽普及拡大推進事業管理運営業務報告書									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	12 文化芸術の振興								
	施策	12-4 文化芸術を推進するプラットフォームの形成	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_12-4.pdf						
			該当箇所	P4,5						
	取組事項	分野:								
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:										
	該当箇所									

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、文化財の保存・活用・継承に資するよう、広く国民が文化財に親しむ機会の充実を図るためのものであり、国民や社会のニーズを反映した文化施策を実施するうえで、基礎となるものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、我が国の貴重な文化遺産を後世に継承するために、国指定等文化財の公開や各種情報のデータベース化等を行っており、国として実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、広く国民が文化財に親しむ機会の充実を図るものであり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札による支出先の選定を行うこと等により、選定の妥当性や競争性を確保している。一者応札の案件があったことから、業者が業務量を把握しやすくするよう仕様書に明示的に示すなど、仕様書の見直しを行った。仕様は同業他社の参加を不当に制限するものではなく、公告期間も十分に設けているものではあるが、一者応札の状況が改善されるようさらに検討していく。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	各事業の規程において支援対象を明確に定めており、受益者負担とすべきものは支援の対象から外している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	謝金・旅費は文化庁の基準単価を適用し、役務費等は見積の内容を精査した上で契約を行っている。また、単位当たりコストが大きく変動している事業については、事業計画の見直しに伴い事業規模を拡充又は縮小している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	各事業の規程において支援対象を明確に定めている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	少額随意契約の場合であっても相見積もりを徴収するなど、効率化を図っている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	広く国民が我が国の伝統的な文化を鑑賞・体験する機会を設けるための各事業を実施し、十分な実績を挙げている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施に当たっては、過去の実施内容を踏まえた見直し等を行っており、より効果的な事業となるよう努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	広く国民が我が国の伝統的な文化を鑑賞・体験する機会を設けるための各事業を実施し、十分な実績を挙げている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	作成した成果物は、広く一般にも利用されるよう、オンライン上での公開等を行っており、適切に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○		
	事業番号	事業名	事業0391は文化財の保護を図ることを目的としており、事業0392は広く国民が文化財に親しむ機会の充実を図ることを目的として役割分担を行っている。文化財を適切に保護することで歴史的・芸術的資産を国民が享受できるものであり、また文化財に親しむことで国民間に文化財愛護の精神が醸成され文化財保護につながるという、文化財の保存→活用のサイクルを形成している。	
	文部科学省	0391		文化財保護対策の検討等
点検・改善結果	点検結果	本事業は、指定文化財等の情報を発信するウェブサイトの運営、各種展示・公開イベント等を実施し、国民が文化財を鑑賞・体験する機会を充実させることにより、我が国の歴史文化等への理解を深め、伝統文化等の保存・継承、後継者の育成等に寄与するものであり、成果目標及び成果実績からみて十分な成果を挙げている。		
	改善の方向性	成果目標及び成果実績から見て十分な成果を挙げているが、一者応札が見受けられるため、引き続き契約の競争性・透明性を確保するとともに、実績を踏まえて事業内容の見直しを行うことにより、執行の更なる効率化に努める。		
外部有識者の所見				
アウトプット、アウトカムともに邦楽普及拡大推進事業に関する指標の設定が必要である。その際、単位当たりコストの設定においては一人当たりの生徒に対するコストの明確化を図る必要がある。 また、大学については4年間、高校については3年間と短期的に集中した育成のための国費の投入が行われることから、邦楽全体の底上げに寄与するための持続可能性を担保することは重要であり、その後の出口戦略を早い段階から検討し、それに適した指標の設定が必要である。 さらに、様々な邦楽楽器をバランス良く採択することで、独立行政法人日本芸術文化振興会養成事業や家元との連携なども検討し、トップレベルへの道を開くための道筋を作ることが望まれる。				

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
善一部
内改
容

この事業は、外部有識者の指摘を踏まえ、邦楽普及拡大推進事業に関する指標及び単位当たりコストの設定について工夫すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行
善等
改

アウトプット・アウトカムについて、生徒一人当たりに対するコストを指標に設定するとともに、事業趣旨にあった出口戦略を検討し、継続中の支援対象を含めて事業効果が高まるような対応策を検討する。
また、楽器ごとの申請数、申請割合を参考に、多様な楽器への支援ができるよう、配慮検討する。

備考

・文化遺産オンライン：<https://bunka.nii.ac.jp/>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	393			
平成24年度	416			
平成25年度	382			
平成26年度	377			
平成27年度	373			
平成28年度	353			
平成29年度	362			
平成30年度	363			
令和元年度	文部科学省 - 0359			
令和2年度	文部科学省 0361			
令和3年度	2021 文科 20 0389			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文化庁
467百万円

諸謝金 1.1百万円 情報処理業務庁費 16.9百万円
職員旅費 0.6百万円 庁費 40.7百万円
委員等旅費 0.3百万円

} を含む

文化遺産オンライン構想の推進

我が国の文化遺産のアーカイブ化を推進するとともに、全国の博物館・美術館等の文化財の情報を集約化し、文化遺産情報を発信する。

請負【一般競争契約(最低価格)等】

A. 民間企業(2社)、
独立行政法人
36.8百万円

文化遺産オンライン等システムの運用・整備や文化財資料のデジタル化に関する業務等

無形文化財等公開活用事業

無形文化財等についての公開事業を継続的に実施することで、国民の無形文化財等の保存伝承に対する理解の向上を図る。

委託【一般競争契約(総合評価)】

B. 民間企業(3社)、公益法人
45.0百万円

令和3年度選定保存技術広報事業

「国民のたから」鑑賞機会の充実

新指定文化財展や文化庁購入文化財展に関する梱包運送作業等

請負【一般競争契約(最低価)】

C. 日本通運株式会社
1.7百万円

美術工芸品の梱包運送作業

発掘された日本列島展

埋蔵文化財の一層の活用を図るため、近年、全国的に注目を集めた出土品等について展示することにより、発掘の成果を紹介し、その意義と重要性について、国民への理解を図る。

【一般競争契約(総合評価)】

D. 公益財団法人
元興寺文化財研究所

『発掘された日本列島2021』展実施に係る広報業務等一式

邦楽普及拡大推進事業

演奏者の拡大に向け、文化庁が認定する団体(高校・大学の部活動等)に対し、コロナ対策を踏まえた稽古や実演に取り組めるような環境整備(邦楽器購入・成果発表会等)に対する支援を行う

【随意契約(企画競争)】

E. 凸版印刷株式会社情報コミュニケーション事業本部

令和3年度邦楽普及拡大推進事業管理運営業務一式

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A. 株式会社アクシオヘリックス			B. 株式会社エヌエイチケイプロモーション		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	運用保守、機能改修等	13.8	事業費	借損料等	25.2
				人件費	賃金	1.7
				一般管理費		2.7
	計		13.8	計		29.6
	C. 日本通運株式会社			D. 公益財団法人元興寺文化財研究所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	美術工芸品の梱包運送作業	1.7	庁費	『発掘された日本列島2021』展実施に係る広報業務等一式	21.3
				文化芸術振興委託費	『発掘された日本列島2021』展に係る資料輸送・展示補助等業務	0.3
計		1.7	計		21.6	
E. 凸版印刷株式会社情報コミュニケーション事業本部			F.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
委託費	令和3年度邦楽普及拡大推進事業管理運営業務一式	302.2				
計		302.2	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アクシオヘリックス株式会社	4360001006007	文化財管理台帳システム・文化財補助金システム運用保守、機能改修及び文化財関連データ作成業務	13.8	一般競争契約 (最低価格)	1	91.8%	
2	アクシオヘリックス株式会社	4360001006007	文化遺産オンライン及び国指定文化財等データベースのデータ管理・システム運用管理及び機能改修等業務	13.7	一般競争契約 (最低価格)	1	96.2%	
3	独立行政法人国立文化財機構	3010505001183	文化財防災のための詳細資料保存に係る調査等業務	7.2	一般競争契約 (最低価格)	1	98.2%	
4	株式会社ユウトハンズ	4011001045145	文化財防災のための詳細資料デジタル化業務	2.1	一般競争契約 (最低価格)	4	10.6%	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌエイチケイプロモーション	3011001003970	令和3年度選定保存技術広報事業	29.6	一般競争契約 (総合評価)	1	93.9%	
2	株式会社三越伊勢丹	4011101059648	令和3年度首都圏伝統工芸技術作品展等開催事業	9.9	随意契約 (企画競争)	1	100%	
3	公益社団法人日本工芸会	6010505001949	令和3年度伝統工芸超分野交流事業	4.8	随意契約 (企画競争)	1	100%	
4	株式会社メディア・ゲート・ジャパン	5011101043477	個伝統工芸技術における広報媒体の作成	0.7	随意契約 (少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本通運株式会社	4010401022860	美術工芸品の梱包運送作業	1.7	一般競争契約 (最低価格)	1	97.3%	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人元興 寺文化財研究所	8150005000782	『発掘された日本列島 2020』展実施に係る広報業 務等	21.3	一般競争契約 (総合評価)	1	100%	—
2	公益財団法人元興 寺文化財研究所	8150005000782	『発掘された日本列島 2020』展にかかる展示支持 具調整	0.3	随意契約 (少額)	—	—	—

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション 事業本部	7010501016231	令和3年度邦楽普及拡大 推進事業管理運営業務一 式	302.2	随意契約 (企画競争)	1	100%	—